

フランスの鬼才ゲームデザイナー ブルーノ・カタラがデザインした、大人から子供まで楽しめる牛追いカードゲームのポケット版が登場!!

9月上旬発売予定

『MOW (モウ)』 ポケットバージョン (日本語版)

ニュースリリース

2010年8月16日
株式会社ホビージャパン

輸入ゲームなどを販売している、株式会社ホビージャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：松下大介）は、ファミリーカードゲーム『MOW (モウ)』のポケットバージョン（日本語版）を、9月上旬に発売いたします。

「Mr.ジャック」や「ミッショング・レッドプラネット」などでおなじみの、フランスの鬼才ゲームデザイナーであるブルーノ・カタラ氏がデザインしたカードゲーム『MOW』。昨年12月に発売した、カード110枚入りで10人まで遊べる60カ国版のルールが入ったインターナショナルVer.（税込2,520円）に続き、手軽に遊べるカード49枚入りで5人まで用のポケットバージョンが登場します。

ポケットバージョンは9.5cm×9.5cmのポケットサイズで、パッケージもルールも日本仕様の日本語版。価格も税込1,470円とお手頃な商品になりました。

戦略と駆け引きと運の要素が程よくブレンドされた、誰もが楽しめる数字並べカードゲーム



『MOW (モウ)』
ポケットバージョン (日本語版)
価格：1,470円 (1,400円+税)
商品コード：4981932020778

ゲームデザイン：Bruno Cathala
プレイ人数：2～5人用
対象年齢：7歳以上
プレイ時間：10～30分
Made in France

※お問い合わせは下記まで

“MOW”とは牛の鳴き声のこと。プレイヤーは、農夫になり、野原にいる牛たちを集めて、厩舎に入れる牛の群れを作ります。しかし、牛の中にはハエがたかっているものがあり、その牛はみんなから嫌われています…。

各プレイヤーは5枚の手札からスタート。各自の手番に、手札の牛カード1枚を場に出して、カード1枚を引きます。手札の牛カードの場への出し方は、すでに場に出ている牛カードよりも数の大きいカードの場合はそのカードの右側へ、小さいカードの場合は左側へ置きます(これを、牛の群れに加えると呼びます)。手番が進むにつれ、出せるカードの選択肢は狭まり、自分の手番でカードを置けなくなったプレイヤーは、その群れ全部を引き取らなければなりません。

さらに、「カードとカードの間に置ける」、「これ以上置けなくなる」などの特殊牛カードがあり、他のプレイヤーに干渉する展開をも楽しめます。最終的に、自分が引き取ったカードに記載されているハエの数が最も少ないプレイヤーが勝利となります。

